

内装塗り替えの  
強い味方です。

# MARU-UM

内装用アク・シミ止め  
下地不陸調整材

## 特長

- 古壁の下地調整・水引き不陸調整
- アク・シミを防ぐ
- 乾燥が早い《不陸調整の場合4~5時間》
- 上塗材の作業性、密着性が向上

《乾式工法（石膏ボード等）の滑り止め、水引きムラ、  
不陸調整用のプライマーとしての使用の場合》

## 用途

- 繊維壁
- 聚楽壁の古壁
- しっくい ●ベニヤ
- 石膏ボードの  
アク・シミ及び滑り止め
- 下地面の不陸調整他



株式会社 マルユウ

内装用アク・シミ止め  
下地不陸調整材

# Mプラ

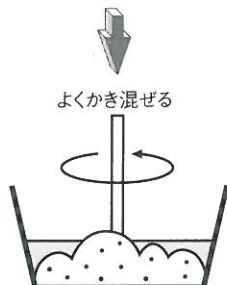
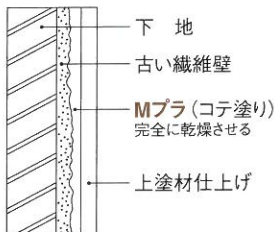
エム

## 標準工法

エムプラ1袋に対して標準水量約3.5L。アク・シミ・ヤニの強いときはやや固練りで、不陸調整にはやや、やわらかく練ってください。1㎡に550～800gの使用で、1袋で約7～10㎡塗れます。



### ■古い繊維壁下地への施工



## 注意事項

- ① 強いアク、シミ、ヤニ又はモルタルの下地のアク止めの時は1mm以上の塗り厚が必要で、10時間以上(常温20℃)完全乾燥してください。
- ② 特にアク、シミが強く乾燥表面に色が出た時は、もう一度重ねて下さい。
- ③ 水引き、不陸調整の塗布の場合、4～5時間で上塗り材が塗れます。  
〔必ず乾燥を確認してください。温度・湿度他、条件により変わります。〕
- ④ 5℃以下の施工は避けてください。
- ⑤ 下地が弱い繊維壁に砂壁のような重い壁を塗る場合、ボンド等で固めておくと剥離事故から守ります。

## 標準仕様

エムプラ 5,500g/袋  
標準水量 約3.5L  
標準塗厚 約1mm  
標準塗布量 550～800g/㎡ 7㎡～10㎡/袋

## エムプラ下地処理法

下地の種類	下地の状態	処理方法	下地仕上げ	上塗材
繊維壁 聚楽壁 砂壁 耐水壁 しっくい	全体が浮いていて、剥離の心配がある。 2回以上塗り重ねている。	剥離剤等で剥がし、清掃して 汚れを取る。	処理部分乾燥後、 エムプラを塗る。	下 地 材 乾 燥 後、 上 塗 材 を 塗 る。
	手でボロボロ落ちる。	ブラシ・ヘラで落とす。		
	穴が開いたり、チリ際が浮いている。	穴は中塗り、プラスター又は、エムプラを 固練りして埋める。 チリ際は3～4cm程切り取って、エムプラを 固練りしてしごき塗る。		
	一部分が浮いている。	浮いている部分を切り取り、エムプラを 固練りし埋める。		
	接着は良いが、汚れてアク・シミで変色している。	ホコリ、汚れ等を清掃する。		
中塗り土	一部損傷している。	固練りエムプラを埋め込む。		
石膏ボード合板	ジョイント部分等が正常で、鉄釘が使用 されている。	ジョイント部分に寒冷紗を貼り付ける。 鉄釘はサビ止める。		



株式会社 マルユウ

東大阪市菱江2丁目12-8

TEL.0729-60-5666 FAX.0729-66-5660